

令和5年度第1回文化財保護委員会抄録

- 1 安城市民憲章唱和
- 2 事務局異動職員紹介
- 3 教育長あいさつ
- 4 委員長あいさつ
- 5 協議事項

(1) 令和4年度文化財保護関係事業結果について

【説明】(事務局)

- ・県指定文化財の「榎前のクロガネモチ」が枯死により指定解除となった。(事務局)
- ・文化財保存事業補助として、本證寺の「善光寺如来絵伝」、「聖徳太子絵伝」4幅の修理に対し、186万7千円を補助した。また、和泉町にある「学甫堂」の茅葺屋根の交換に対し、335万5千円を補助した。(事務局)
- ・史跡本證寺の発掘調査により、堀が指定地の境界を越境していることがわかったため、該当する3筆を追加指定するための意見具申をした。今年度買収する予定。(事務局)
- ・本證寺の南にある、江戸時代に代官侍屋敷があった敷地を買収した。建物は、「案内・学習・ボランティア施設」として保存修理・活用改修を行っていく予定。(事務局)
- ・本證寺の石垣と築地塀を修理した。江戸時代の石列が見つかったため保存をしていく。(事務局)
- ・姫小川古墳の崩落防止のため、墳丘に土盛をして保護し、墳頂部に雨水の排水路を設ける工事を行った。(事務局)
- ・安城市制70周年記念事業として、「西三河棒の手交流大会」を開催し、市内外の7団体が棒の手の技を披露した。(事務局)
- ・大河ドラマ「どうする家康」に合わせて、市内の高校と協働で、安城の歴史紹介YouTube「安城歴史伝」を制作した。(事務局)

【質疑応答】(事務局・委員)

- ・浜富町にある「富士塚」の史跡説明看板に史実の確認が取れない内容が掲載されている。(委員)
→ご指摘を受け止め、対応を考えたい。(事務局)
- ・「桜井神社のまつり囃子保存団体」は、5団体がコロナのため補助を辞退しているが、詳しく説明してほしい。(委員)
→道具の修理も補助金の対象になると伝えたが、コロナのため一切活動をしていないので、補助金の対象にするものがないとのことであった。
今年は通常通り、桜井神社の祭礼が行われ、8団体いずれもまつり囃子を披露される予定と伺っている。(事務局)

(2) 令和5年度文化財保護関係事業計画について

【説明】(事務局)

- ・「善光寺如来絵伝」、「聖徳太子絵伝」の修理第1期は、4年計画のうちの2年目となり、肌裏紙の除去・交換を行う。(事務局)
- ・史跡整備事業では、公園の実施設計と、田の水はけの悪い土を交換するための造成工事を行う。(事務局)
- ・文化財啓発事業の「高校生が作る安城の歴史紹介 YouTube」は2年目となり、市内3校が参加し、新美南吉、山崎延吉、安城七夕まつりをそれぞれ取り上げる予定。(事務局)
- ・埋蔵文化財調査事業では、桜林小学校にエレベーター棟を増築するため、中狭間遺跡の発掘調査をする。(事務局)

【質疑応答】(事務局・委員)

- ・「高校生が作る安城の歴史紹介 YouTube」は、だれに対して啓発を行うために制作するのか。(委員)
→どこでもだれでも安城の歴史を見られるようにし、制作の過程で、高校生たちに地元の文化、文化財について注目してほしいと考えている。(事務局)
- ・歴史紹介 YouTube は、高校生が台本を自分の言葉に置き換えたり、視覚的な表現を自分たちで模索したりして、工夫してはどうか。(委員)
→高校生らしさを引き出す工夫を考えたい。(事務局)
- ・歴史紹介 YouTube の QR コードはどこで見れるのか。SNS のハッシュタグのような、引っかかる要素をたくさん作り、工夫してやってほしい。(委員)
→「歴史の散歩道」というガイドブックに QR コードを掲載し、安城城と本證寺で配布している。また、安城市のホームページに歴史紹介 YouTube へのリンクを掲載しており、YouTube の安城市のグループの中に全部の動画を掲載している。(事務局)

(3) 令和5年度指定文化財の管理調査について

【説明】(事務局)

- ・3年に1度のペースで調査できるよう順番に実施しており、3班に分かれて調査を行う。昨年度に修理等を行ったところは、経過の確認のため今年度調査を行う。(事務局)

6 報告事項

- ・史跡本證寺境内整備基本計画・石垣修理について
- ・姫小川古墳崩落防止対策工事について
- ・絹本著色 善光寺如来絵伝・絹本著色 聖徳太子絵伝の修理について

【説明】(事務局)

- ・「史跡本證寺境内整備基本計画」は、ホームページで公開している。現在は、公園の実施設計を行う業者のプロポーザルを行っている。(事務局)
- ・「姫小川古墳」は、先日の大雨では問題なかった。現在は、雑草が繁茂しているが、これには雑草の根が張ることで、崩落を防止するという意味がある。2、3年後には、墳丘を覆うキツタが伸びて日陰になり、雑草があまり生えなくなると同時に剪定した木が復活してくる。(事務局)
- ・「善光寺如来絵伝」、「聖徳太子絵伝」の今年度の修理は、核心部分に到達する。秋の文化財保護委員会・博物館協議会の合同研修会で、委員の方に見ていただく機会を設けたい。(事務局)